



第32回地球環境大賞

開催概要について



主催：フジサンケイグループ
主管事務局：産経新聞社

趣旨・目的

- * 主催：フジサンケイグループ（主管事務局：産経新聞社）
- * 特別協力：公益財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン, 名誉総裁・秋篠宮皇嗣殿下)
- * 1992年に「産業の発展と地球環境との共生」を目的に創設
- * 企業, 行政, 学校, 市民が一体となった顕彰制度
- * 地球温暖化の防止, 循環型社会の実現に寄与する技術・製品開発, 環境保全活動・事業の促進,
21世紀の社会システムの探求, 地球環境に対する保全意識の一段の向上を目的
- * 計322の企業・団体が受賞

【表彰部門】

- 第 1回(1992年)：大賞, 経済産業大臣賞, 環境大臣賞, フジサンケイグループ賞
- 第 5回(1996年)：文部科学大臣賞, 日本経済団体連合会会長賞<新設>
- 第16回(2007年)：国土交通大臣賞 <新設>
- 第20回(2011年)：農林水産大臣賞 <新設>
- 第31回(2023年)：総務大臣賞, 日本商工会議所会頭賞 <新設>

- * 主催：フジサンケイグループ（主管事務局：産経新聞社）
- * 後援：経済産業省、環境省、文部科学省、国土交通省、農林水産省、総務省
一般社団法人 日本経済団体連合会、日本商工会議所
- * 特別協力：公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン
- * 表彰内容：
 - ・大賞
 - ・経済産業大臣賞
 - ・環境大臣賞
 - ・文部科学大臣賞
 - ・国土交通大臣賞
 - ・農林水産大臣賞
 - ・総務大臣賞
 - ・日本経済団体連合会会長賞
 - ・日本商工会議所会頭賞
 - ・フジサンケイグループ賞
- * 募集期間：2023年9月1日～10月31日
- * 審査：2023年11月～2024年2月
- * 発表：2024年3月 ※予定
- * 授賞式：2024年4月 ※予定



* 審査委員長

阿部 博之氏 (東北大学名誉教授、日本工学アカデミー名誉会長)

* 審査委員

黒田 玲子氏 (東京大学名誉教授、中部大学特任教授)

末吉 竹二郎氏 (WWF ジャパン会長)

中村 桂子氏 (J T 生命誌研究館名誉館長)

長谷川 雅巳氏 (日本経済団体連合会環境エネルギー本部長)

山地 憲治氏 (東京大学名誉教授、地球環境産業技術研究機構理事長)

* 審査基準

1. 経済の発展と地球環境との共生に寄与している
2. 持続可能な社会の実現に向けて高い環境理念や行動計画を有し、SDGs達成に向けて取り組んでいる
3. 独創性、先導性がある
4. 模範となり得る先進的な活動で地球規模の環境保全に貢献している
5. 技術・製品開発で顕著な環境改善効果が期待できる
6. 産学官の連携や異業種間のクラスター化などで主導力を発揮している
7. 地域や社会との環境コミュニケーションの構築に積極的な役割を果たしている

* 募集対象

企業、自治体、学校(大学、高校、中学校、小学校など)、市民グループ

※個人の応募は不可

第31回「地球環境大賞」受賞者

地球環境大賞	東急 / 町田市
経済産業大臣賞	東京ガスエンジニアリングソリューションズ / 栃木県 / 宇都宮市 / カルビー / キヤノン / 久光製薬 / 東京ガス
環境大臣賞	エア・ウォーター
文部科学大臣賞	東海国立大学機構 (岐阜大学 / 名古屋大学)
国土交通大臣賞	全日本空輸
農林水産大臣賞	霧多布温原ナショナルトラスト
総務大臣賞	KDDI / KDDI 総合研究所 / 鳥羽市
日本経済団体連合会会長賞	市川環境ホールディングス
日本商工会議所会頭賞	エコリカ
フジサンケイグループ賞	鹿島建設
奨励賞	川崎重工業 / 損害保険ジャパン / SOMPOリスクマネジメント / ダイセル

第31回地球環境大賞 Since 1992
4月17日に授賞式

地球温暖化防止や持続可能な開発目標(SDGs)の達成に取組み、成果をあげている企業・団体などを表彰する第31回「地球環境大賞」(主催・フジサンケイグループ)の受賞者が決定した。グランプリにあたる大賞には、環境に配慮した新しい暮らしの拠点を創出した東急(町田市(東京都))が輝いた。授賞式は

4月17日、東京・元赤坂の明治記念館で行われる。東急は令和元年、同社と官民連携し、街全体に環境配慮を施した「南町田グランベリーパーク」を誕生させた。雨水の一部が地中に還元するグリーンインフラを採用したほか、商業施設の一部に太陽光発電を取り入れるなどの取り組みを行っている。

経済産業大臣賞は宇都宮市の清原工業団地で地産地消エネルギーシステムを現した東京ガスエンジニアリングソリューションズなると、環境大臣賞は、ごみ焼却場などの排出ガスを回収し酸化炭素(CO₂)を再利用

東急と町田市に大賞

「持続可能な未来へまちづくり」
第31回地球環境大賞 Since 1992

地球温暖化防止や持続可能な開発目標(SDGs)の達成に取組み、成果をあげている企業・団体などを表彰する第31回「地球環境大賞」(主催・フジサンケイグループ)の授賞式が17日、東京・元赤坂の明治記念館で開かれ、受賞者に表彰状とトロフィーが手渡された。

式典では、環境に配慮した新しい暮らしの拠点創出で大賞に輝いた東急と町田市(東京都)を代表して東急の高橋和夫社長が「これからも地球環境に貢献しながら「持続可能な未来のためのまちづくり」を推進していく」と述べた。

また、フジサンケイグループの日枝久代表は「SDGsの達成に向け、高い環境技術を持つ日本企業のリーダーシップが求められている」と指摘した上で、「こ



第31回地球環境大賞授賞式で、フジサンケイグループの日枝久代表(右)から表彰状を受け取る大賞を受賞した東急の高橋和夫社長(左)＝17日午後、東京都港区の明治記念館(酒巻俊介撮影)



地球環境大賞のレセプションで大賞を受賞した東急の高橋和夫社長(左)らと懇談される秋篠宮ご夫妻＝17日午後、東京都港区(嶋志田拓海撮影)

秋篠宮ご夫妻受賞者とご懇談

第31回地球環境大賞 Since 1992
レセプション

明治記念館(東京都港区)で17日、開催された第31回「地球環境大賞」授賞式に続いて行われたレセプションには秋篠宮ご夫妻が臨席し、受賞者らに言葉をかけられた。

大賞に輝いた東急の高橋和夫社長が「今後とも、地球の環境保全に貢献すべく、しっかりと取り組んでまいります」とあいさつ。秋篠宮ご夫妻はうなずきながら目を傾け、拍手を

の顕彰制度を通じて、環境と経済の調和による豊かで活力ある国づくりに邁進していくとあいさつした。

地球環境大賞顕彰制度委員会議長を務める三井不動産の岩沙弘道取締役は「この賞の社会的な評価をさらに高め、これからの社会・経済の持続的発展の一助となるよう努めていく」と話した。授賞式後のレセプションは、秋篠宮ご夫妻をお迎えして開催された。20分に受賞者とご懇談

ドライアイスなどを製造する装置を開発したエア・ウォーター、文部科学大臣賞には大学、産業、地域が一体となりカーボンニュートラル実現を目指す国立大学法人「東海国立大学機構」。

国土交通大臣賞は特殊なフィルムを機体採用し燃費抑制を達成するなどした全日本空輸。農林水産大臣賞は北海道・霧多布温原の保全に取り組むNPO法人「霧多布温原ナショナルトラスト」、総務大臣賞は脱炭素社会の実現に貢献する水トロンを開発したKDDIなど。

日本経済団体連合会会長賞は食品廃棄物から電力を生み出す市川環境ホールディングス、日本商工会議所会頭賞には使用済みカーリッジの資源循環に取り組みしてきたエコリカ、フジサンケイグループ賞には海藻増殖技術を開発した鹿島建設が選ばれた。

産経新聞東京本社版 2022年3月1日付

産経新聞東京本社版 2022年4月18日付

送られた。

ご夫妻は乾杯の際にマスクを外し、そのまま懇談に臨まれた。高橋社長は「殿下に合わせマスクを外させていただき、非常に距離感が縮まっていい会話ができました」と話した。

栃木県の工業団地で、複数の企業が電力や熱を融通しあい、省エネにつなげる取り組みで経済産業大臣賞を受賞した東京ガスの笹山晋社長は「殿下から温厚化対策の上で、非常に大事な取り組みですね」と語り、「ぜひ、ご賞状をいただきたい」と振り返った。

総務大臣賞に選ばれたKDDI総合研究所の中村元所長は、水トロンを使って海が集まる「藻場」を創出する取り組みについて説明。秋篠宮ご夫妻は「藻場は、どんな種類ですか」とご質問されたという。

神奈川県栗山町の海で藻場の再生に取り組む、フジ

第31回「地球環境大賞」受賞者

地球環境大賞	東急 / 町田市
経済産業大臣賞	東京ガスエンジニアリングソリューションズ / 栃木県 / 宇都宮市 / カルビー / キヤノン / 久光製薬 / 東京ガス
環境大臣賞	エア・ウォーター
文部科学大臣賞	東海国立大学機構 (岐阜大学 / 名古屋大学)
国土交通大臣賞	全日本空輸
農林水産大臣賞	霧多布温原ナショナルトラスト
総務大臣賞	KDDI / KDDI 総合研究所 / 鳥羽市
日本経済団体連合会会長賞	市川環境ホールディングス
日本商工会議所会頭賞	エコリカ
フジサンケイグループ賞	鹿島建設
奨励賞	川崎重工業 / 損害保険ジャパン / SOMPOリスクマネジメント / ダイセル

※市川環境ホールディングスは4月1日からレムグループへ社名変更

よく)存じ、葉山になじみがあるとともに、海産ものものにも関心がおありだと思った」と話した。(1面参照)

◇新聞

3月 1日(水)付	産経新聞、サンケイスポーツ(受賞者発表)
3月 2日(木)付	夕刊フジ(受賞者発表)
3月 6日(月)付	産経新聞(受賞者紹介)
4月18日(火)付	産経新聞、サンケイスポーツ(授賞式)
4月19日(水)付	夕刊フジ(授賞式)
4月22日(土)付	産経新聞(皇室ウィークリー)
6月 8日(木)付	産経新聞(地球環境大賞特別番組の放送告知)

◇テレビ・ラジオ

3月1日(水)	フジテレビ(めざましテレビ、ニュースイット、ニュースα) BSフジ (プライムニュース) ニッポン放送(各ニュース番組)
4月17日(月)	フジテレビ(ニュースイット、ニュースα) BSフジ (プライムニュース)
4月18日(火)	フジテレビ(めざましテレビ、めざまし8、ノンストップ)

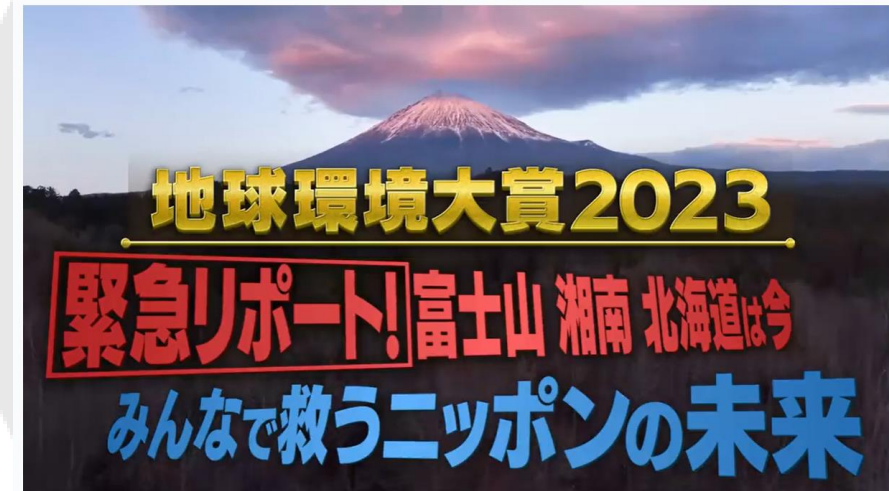
◇テレビ特別番組

6月10日(土)	フジテレビ(関東ローカル)
6月25日(日)	BSフジ (全国)
6月10日以降	T V e r

◇Web

FNNプライムオンライン	配信日：3月 1日(水)、4月17日(月)
日刊SPA!	配信日：3月 1日(水)
産経ニュース	配信日：3月 1日(水)、4月17日(月)、6月8日(水)

◇テレビ特別番組



地球環境大賞2023 富士山 湘南 北海道は今・・・みんなで救うニッポンの未来
緊急レポート! 日本の海と山が危機に

<https://tver.jp/episodes/ep9d1va1bg>

【第31回地球環境大賞】受賞者,歴代の大賞受賞者

第31回「地球環境大賞」受賞者

地球環境大賞	東急／町田市
経済産業大臣賞	東京ガスエンジニアリングソリューションズ／ 栃木県／宇都宮市／カルビー／キャノン／ 久光製薬／東京ガス
環境大臣賞	エア・ウォーター
文部科学大臣賞	東海国立大学機構（岐阜大学／名古屋大学）
国土交通大臣賞	全日本空輸
農林水産大臣賞	霧多布湿原ナショナルトラスト
総務大臣賞	KDDI／KDDI 総合研究所／鳥羽市
日本経済団体連合会会長賞	市川環境ホールディングス
日本商工会議所会頭賞	エコリカ
フジサンケイグループ賞	鹿島建設
奨励賞	川崎重工業
	損害保険ジャパン／SOMPO リスクマネジメント ダイセル

※市川環境ホールディングスは4月1日からテラレムグループへ社名変更

◇歴代の大賞受賞者

第1回	キャノン株式会社	第21回	サントリー
第2回	株式会社日立製作所		ホールディングス株式会社
第3回	日本アイ・ビー・エム株式会社	第22回	アサヒグループ
第4回	麒麟ビール株式会社		ホールディングス株式会社
第5回	富士通株式会社	第23回	一般社団法人日本鉄鋼連盟
第6回	東日本旅客鉄道株式会社	第24回	トヨタ自動車株式会社
第7回	トヨタ自動車株式会社	第25回	東京急行電鉄株式会社
第8回	ミサワホーム株式会社	第26回	富士通株式会社
第9回	日本電気株式会社	第27回	積水ハウス株式会社
第10回	ソニー株式会社	第28回	大日本印刷株式会社
第11回	松下電器産業株式会社	第29回	あいおいニッセイ
第12回	株式会社リコー		同和損害保険株式会社・
第13回	トヨタ自動車株式会社		エーオンベンフィールド
第14回	松下電工株式会社		ジャパン株式会社・
第15回	旭化成グループ		国立大学法人横浜国立大学
第16回	ライオン株式会社	第30回	積水ハウス株式会社
第17回	TDK株式会社	第31回	東急株式会社・町田市
第18回	大和ハウス工業株式会社		
第19回	川崎重工業株式会社		
第20回	東京電力株式会社(受賞辞退)		

◆動画コンテンツ事例



再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの

名久井農業高が初代グランプリ
 高校生ecoアイデアコンテスト
 高校生が環境保全のためのアイデア動画を発表する「第1回高校生ecoアイデアコンテスト」(主催・産経新聞社、共催・ピースコミュニケーション財団、早稲田大学WASEDA EDGE人材育成プログラムなど)の本選が13日、東京都千代田区の「3×3 Lab Future」で開催され、グランプリに青森県立名久井農業高校が選ばれた。



同コンテストは環境保全などの実現に寄与した取り組みを顕彰する「地球環境大賞」(フジサンケイグループ主催)のスピノフイベント。全国の高校生を対象に地球環境保護のための発想を表現した3分以内の動画を募集した。本選には一次審査を通過した7組が参加。工夫を凝らした動画を発表した後、代表者がプレゼンテーションを行い、審査員からの質問にも堂々と応じていた。グランプリの名久井農業高校は、記念撮影する名久井農業高校の寺沢ゆきさん(中央左)と中居泉穂さん(同右)と13日、東京都千代田区

2022年11月15日付



第1回 高校生ecoアイデアコンテスト

地球環境大賞(フジサンケイグループ主催)を運営する産経新聞社は、全国の高校生を対象に、地球環境を守るアイデアを3分以内の動画で表現する「第1回高校生ecoアイデアコンテスト」を開催。アイデアを募集します。

2030年までに、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標(SDGs)・17ゴールのうち、地球環境に関する5つの目標の中から、自由な発想で世界を変えるアイデアを募集します。初めて出会う相手や懸念に対し、自分のアイデアをわかりやすく説明。同じ手に、課題や新たな発想を生み出すことを目指します。従来の考え方にとらわれず、夢や希望にあふれたアイデアを期待しています。共催は、子どもたちのためのSDGsのテーマに沿ったさまざまなプロジェクトを展開する一般財団法人ピースコミュニケーション財団、地球環境の拠点でのビジネス創造を目指す人材育成を実施する早稲田大学(WASEDA-EDGE人材育成プログラム)、東京大学・東工工業大学・早稲田大学を主催機関として大学発スタートアップを育てるGreater Tokyo Innovation Ecosystem (GTE)、フジテレビジョンが協賛しています。



第1回高校生ecoアイデアコンテスト募集概要	
応募資格	高校生(休学出場の際、会場でプレゼンテーションできる生徒)※チームも可
募集対象	実現可能性、斬新性、アイデアスケールなど
応募方法	応募フォームから応募事項を記入し、3分以内のアイデア動画をエントリー URL: https://tayori.com/1/econotest
締め切り	2022年10月10日(月)
スケジュール	予備審査を経て、10月までに本選通過者に通知 → 11月13日(日)、本選開催(東京・大手町3×3Lab)
賞	グランプリ(副賞10万円の図書カード)1組ほか ※詳細・応募要項は、こちら https://www.tokyoheadline.com/econotest/ まで、
主催	産経新聞社
共催	一般財団法人ピースコミュニケーション財団、早稲田大学 WASEDA-EDGE人材育成プログラム、Greater Tokyo Innovation Ecosystem (GTE)
協力	早稲田大学グローバル科学総合研究所、フジテレビジョン、Tokyo Marunouchi Innovation Platform (TMIP)、デロイト・トーマツコンサルティング各株式会社

お問い合わせ先 | 第1回高校生ecoアイデアコンテスト事務局(産経新聞社内) | 電話: 03-3273-6102 | メール: eco@sanki.co.jp

◆関連セミナー・シンポジウムなど



30周年セミナー開催
 地球温暖化防止や持続可能な開発目標(SDGs)を取り組み、成果を挙げている企業・団体などを表彰する「地球環境大賞」(主催・フジサンケイグループ)が30周年を迎えたことを記念したセミナーが14日、東京・大手町のサンケイプラザで開催された。東京大学未来ビジョン研究センターの高村ゆかり教授が「サステナブル企業の条件」と題した基調講演を行い、気候変動などに関する企業の情報開示の重要性を指摘した。高村氏は、持続可能な企業を

サステナブル企業に「中長期の戦略必要」

考える際には、「中長期的に社会をどう変えたいかのビジョン、戦略の策定が必要だ」とも述べた。受賞企業の環境担当者のいるパネルディスカッションでは、サステナブルな企業に向けた次の一手を開かれる場面があり、第30回大賞を愛賞した積水ハウスの近田智也執行役員環境推進部長は「サプライチェーン(供給網)を含め、全従業員が参画する組織づくり」を重要なポイントとして挙げ、第29回大賞のあいびーエッセイ同和福居除の白井拓介取締役常務執行役員は、防災などの観点から「自衛本への取り組みを積極的に進めたい」と語った。セミナーの収録動画は、17日午後3時から、産経iDのHP (<https://id.sankei.jp/>)で無料配信される。

本事業は協賛社を募っております。
ご協賛に関心をお寄せいただいた企業様は
弊社営業担当へご連絡をお願いします。